

あ と が き

「兼良に全歌集があつても良い」とおつしやつて下さつたのは橋本不美男氏、「出版の方は大丈夫」とおつしやつて下さつたのが故池田社長でした。そこで、修士論文「一条兼良の著作・文芸活動に関する基礎的研究」で扱つた資料を編年に整理し、それに解説・各句索引・略年譜などを加へて成つたのが本書です。二人の「生みの親」にあつく御礼申し上げます。ただ何とも心残りなのは、故社長にお見せ出来なくなつてしまつたことです。

いふまでもないことですが、各地の文庫・図書館には大変お世話になりました。また、御教示いただいた方も数へきれないほどですが、特に、井上宗雄・福田秀一両氏のお名前は、ここにあげさせていただきたく存じます。本当にありがたうございました。もつとも、いただいた学恩に十分こたへうる内容を本書が有するかどうか、自信があるとは必ずしもいへないのは、恥かしいことです。そのためにも、本書を、自分自身の兼良研究の一契機たらしむべく、さらに勉強を深めかつ広げて行かねば、と決意を新たにしました。

癸亥五月日

武井和人